

成果報告書

NPO 法人ぷらっとほーむ小原

プラットハウス吉田口（JR 芸備線吉田口駅）を指定管理し、そこを拠点として地域の活性化に取り組んでいる。駅舎の指定管理にあたっては、地域創生計画「小原未来設計書」に基づき飲食店ときれいなトイレを整備した。また外国人のための日本語教室支援、子どもたちのための地域ぐるみのハロウィンや小屋のある地域づくり等、プラットハウスを中心とした地域づくりを小原地域振興会さん、就労センターあっぷさんとファミリーマート小原店さん等と共創し活動している。

ハロウィンは、子どもたちが楽しめて、子どもの声がこだまする地域であるようにとの願いのもと実施、地域の民家 20 数軒の家庭が協力してくれるトリック・オア・トリートは KSKC から継承し 30 年近く継続している。小屋のある地域づくりは、プラットハウスの裏、尾津谷地区の一角に広島大学と協働して小屋第 1 号を設置し、ピザ窯を併設した。ここは誰でもが自由に利用できる公園的な場所として提供している。共生社会づくりでは、地域に暮らす外国人実習生たちが快適に暮らせるように、プライバシーのある空間づくりを行った。地域の企業法人与連携し、空き家活用を行い全員個室の寮を整備し提供している。また週末の日本語教室を主宰する MDST を支援して、地域国際化多文化共生の一翼を担う活動をしている。1 年間閉鎖していたプラットハウスの店舗は、あらたに 2025 年 4 月からお好み焼き「風の日」としてリニューアルオープンする。またまちの駅機能を併設する計画を進めている。是非一度来てみてください。

2024 年度まちづくり助成金による活動

就労センターあっぷさん、ファミリーマート小原店さんそしてぷらっとほーむ小原が、これまで各団体でそれぞれのイベントを開催していた。それをひとつのイベントとして開催することで、他の団体や企業の協力を得ることが出来て、吉田口駅前通りの活性化につながる大きな賑わいづくりを目指し、関係人口の拡大を目標にイベントを開催することが出来た。助成金は、主として JR 芸備線を活用して吉田口に来てくれる関係人口の拡大や誰でもが自由に使えるピザ窯のある小屋の広報活動等のために活用した。広報の方法としては、チラシなどの紙媒体に加えて、広域に PR することを図るとともに、JR 芸備線利用による集客を目的として、JR 芸備線の列車内広告を出した。しかしながら JR 芸備線を利用したの来客は当初見込んだ数には及ばなかった。その要因としては、列車内広告の掲示時期と期間に課題があったのではないかと分析している。また車社会である JR 芸備線沿線地域住民に列車で来る魅力ある付加価値が伝えきれていなかったのではないかと考える。結果的には、車での来場者が多く、予想を大きく上回る来客数がありイベントは盛会に終えることが出来た。

実施効果

地域内企業や団体などの組織が、これまで以上の連携づくりが出来て地域づくりへの相乗

効果を図ることが出来た。また JR 芸備線車内を活用した広報手法や関係者とのつながりをつくることが出来た。これからの小原地域としての魅力として、ピザ窯のある小屋の PR が出来た。地域のステークホルダーによる協働体制とイベントの継続が出来る可能性がわかり、吉田口駅前通りの持続可能な活性化につながることで、大きな実施効果であったと考える。

最後に

2025 年 7 月 5 日土曜日「おだ村まつり」の開催を予定しています。

パワーアップした出店やステージを計画していますので、是非楽しみにお越しください。

皆様のお越しをお待ちしています。

